


宇部市SDGs未来共創企業 インタビューシート

2023年9月提出

基本情報

 UBEマシナリー株式会社	企業(団体)名	UBEマシナリー株式会社		
	代表者名	代表取締役 宮内浩典	業態	法人
	業種	E: 製造業	従業員数	1,200人
	所在地	〒755-8633 山口県宇部市大字小串字沖ノ山1980番地		

積極的に取り組んでいる開発目標



インタビュー項目

① 普段どのようなことをされている企業(団体)ですか？

産業用の大型機械の製造、販売、アフターサービスを行っています。

「ダイカスト・押出」、「射出成形」、「産機」という3つのセグメントから構成されています。

製品には、アルミを材料に自動車用エンジン等を成形する「ダイカストマシン」、窓用アルミサッシ等を作る「押出プレス」、樹脂を材料に自動車や家電材を成形する「射出成形機」、セメント設備に欠かせない「窯業機」「粉碎機」、発電所等で活躍する「運搬機」「除塵機」のほか、化学プラントを構成する「化学機器」、鋼橋など大型溶接構造物を手掛けています。

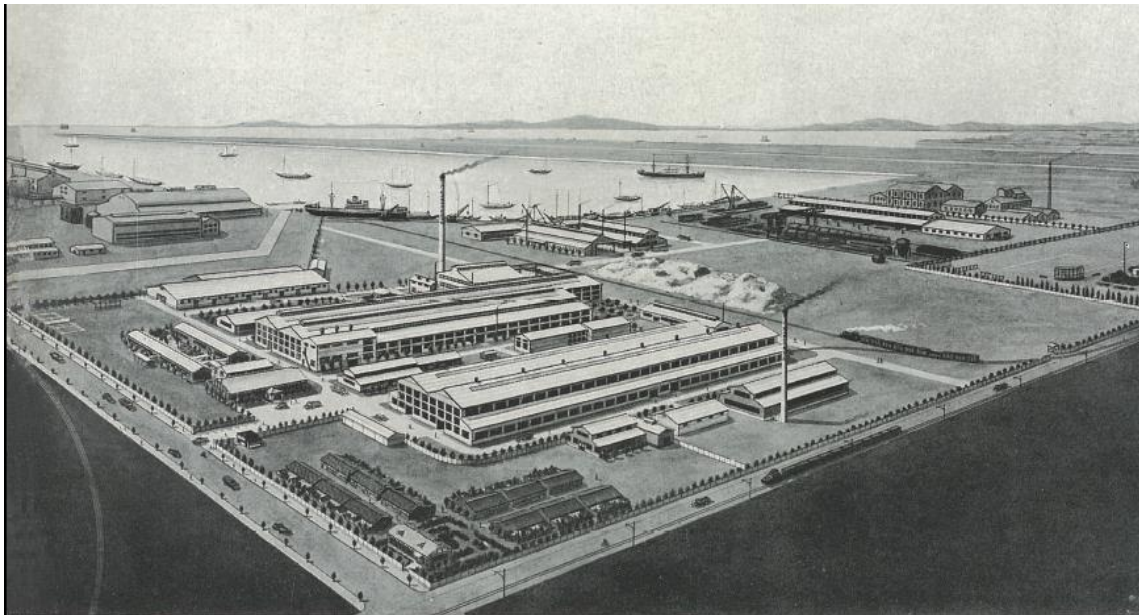


UBEマシナリー株式会社 宇部本社本館

②SDGsに取り組むに至ったきっかけ、理由は？

気候変動や格差の拡大など、さまざまな課題を解決し、次世代につなぐ一助となるために、当社は環境負荷の少ない製品・サービスを、国内外に提供することで持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。

1914年、宇部村にて創業した当社は、過去もこれからも地域と共に発展し、未来を共創していくために、地域経済の発展や活性化に力を注ぎます。



前身の（株）宇部鉄工所（1939年）

③普段どのようなことに重点的に、或いは意識してSDGsに取り組んでいますか？

当社はSDGsに配慮しつつ、さまざまな環境変化や来たる次世代モビリティ社会の到来に向け、蓄積してきた技術と経験を活かし対応しています。具体的には、電気自動車（EV）の製造に寄与する「超大型ダイカストマシン」や「射出成形機」、粉塵・騒音の発生を抑えた「エア浮上コンベヤ」、地域のインフラを支える「橋梁」などを作り出しています。

一方、ダイバーシティを重視し、女性社員の採用や管理職登用に取り組んでいます。障がいのある社員が働く農園の運営にも参画し、そこで収穫した野菜は社員食堂など活用しています。

人材育成も大きなテーマです。承継された技能や技術を若手・中堅社員がコンテスト形式で競う社内大会を、十年以上にわたって毎年開催しています。



宇部湾岸道路のランドマークで当社が施工した「栄川運河橋」
地域のインフラを支えています。

④2030年に向けたSDGsの取組について、今後の予定を教えてください。

「温室効果ガス（GHG）排出量の削減」に向けては、省エネの推進、老朽化設備の更新、再生可能エネルギー利用の最大化により、2030年度において30%削減（2013年度比）を目指します。

「環境貢献型製品・技術の売上高比の伸張」に向けては、製品・技術の省エネ推進、環境貢献型製品の拡大により、2030年度において売上高比60%を目指します。

「女性管理職の比率増加」に向けては、性別や世代を問わずに誰もが働きやすい職場環境づくりを推進することで、2030年度には現状（1.6%）の約2倍となる3.0%達成を目指します。



2つの工場を構えるUBEマシナリー株式会社 宇部本社